

私のすすめるこの1冊

金森悠一(附属図書館職員)

『ハーバード白熱日本史教室』 北川智子著

皆さんは、“白熱教室”という言葉をご存じでしょうか。2年前、マイケル・サンデル教授の「ハーバード白熱教室」が話題となり、NHK E テレで白熱教室シリーズとして放映されたり、その講義内容をまとめた書籍『これからの「正義」の話をしよう』が発売されるなど、ここ2年ぐらいで注目されている言葉です。

その講義は、いわゆる日本における典型的な、教師が生徒に対して一方的に話をして進めていくものとは違い、生徒に質問を投げかけて、より積極的に参加してもらう内容となっています。これらの講義には、その内容の面白さもさることながら、授業を組み立てる際に参考となる要素も含んでいることです。

さて本日は、上記シリーズ同様、タイトルに“白熱教室”を含む1冊をご紹介します。本書は、ハーバード大学における日本人の若い女性研究者による日本史講義、ということで話題となりました。実際、朝日新聞2012年8月12日(日)朝刊の書評欄(9面)でも紹介されています。

しかし、同書評の冒頭の方でも、

“この本、妙に評判が悪い。いわく自慢話ばかり、理系出身なのに歴史を語るな、そもそも歴史認識がおかしい、などなど。”

と書かれているぐらい、批判も多いようです。私自身、日本史は門外漢のため、歴史概念の部分には触れません。

注目すべきなのは、同書評内に、

“著者が授業に際して行う入念な準備や、体験を通じて学ばせるためのアクティブ・ラーニングの手法などは、文句なしに素晴らしい。そう、本書から受けとるべきは、なんとしても知識を伝えたいという、彼女のあくなき工夫と情熱である。”

とあるとおり、その工夫の数々です。

例えば、授業に注目してもらうために、講義の途中でバックグラウンド音楽(効果音・ポップス・民謡など)を流す、絵を描く、○×ゲームをする、図書館に赴いてその資料である「マップ・コレクション」を使用して京都の地図を描いてもらう、などの工夫を行っています。これらの工夫は“自分の趣味をティーチングに生かすように工夫すること”(p.111)から生まれた発想ということです。また、プレゼン課題を出す際には、“1人では無理な方法、つまりグループでしかできない方法をとるように”、“10分間、メンバー4人が何かしら役割を持つように工夫しなさい”(p.151)など、プレゼンに一工夫入るよう促しています。講義のまとめとして、短いラジオ番組や映画を作成させることで、学んだ内容を聴覚的・視覚的にまとめる工夫もしています。

本書は、講義録というよりエッセイに近く、読みやすいのも特徴です。お時間のあるときに一気に読んで、こんな講義の仕方もあるのだと知ることは、授業を面白くするきっかけになるのではないのでしょうか。

『ハーバード白熱日本史教室』

北川智子著

新潮新書 469, 2012年

ISBN : 978-4106104695

購入手続き中

—お知らせ— 図書館

.....増改築工事に伴う北館の閉鎖および資料等の利用制限について.....

改修工事のため、9月26日(水)より北館を閉鎖しております。これに伴い、北館の設備・資料は下記のとおりとなります。利用者の皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

現在の場所	設備・資料	利用開始日	移転先
新書閲覧室	新書 A (下表参照)	10月9日(火)～ [予定]	南館 2F
	新書 B (下表参照)	12月17日(月)～ [予定]	
文庫閲覧室	文庫 A (下表参照)	10月9日(火)～ [予定]	南館 2F
	文庫 B (下表参照)	12月17日(月)～ [予定]	
	コレクションの森	10月9日(火)～ [予定]	南館 1F
	日下部文庫	リニューアルオープンまで利用できません	
雑誌閲覧室	雑誌 (約1年分)	10月9日(火)～ [予定]	南館 2F
	軽読書	リニューアルオープンまで利用できません	
	AV 資料	10月15日(月)～ [予定]	事務局棟 (注1)
	AV ブース		
グループ学習室	IPC 端末		
視聴覚室	視聴覚室・AV 機器	リニューアルオープンまで利用できません	
北館 1F・2F	トイレ	館外の建物をご利用ください	

(注1) 上記の閉鎖に伴い、事務局棟に分室を設置し、AV 資料・AV ブース・IPC 端末を移転する予定です。

※詳細については次項をご覧ください。

区分	詳細
新書 A	岩波新書・岩波ブックレット・東洋文庫・クセジュ・NHK ブックス・岩波ジュニア新書 ・講談社現代新書・中公新書・ブルーバックス・岩波グラフィックス
新書 B	国土新書・明治図書新書・人物叢書・有斐閣選書・新潮選書
文庫 A	岩波文庫・岩波同時代ライブラリー・岩波現代文庫
文庫 B	新潮文庫・カラーブックス・カラーガイド・筑摩文庫・評論社文庫・講談社学術文庫・俳句文庫

◆今回の閉鎖に伴う、資料の長期貸出等はいりません。

◆上記の日程等は変更になる場合もあります。最新の情報は図書館ホームページ等でご確認ください。

.....図書館分室について.....

10月15日(月)より、事務局棟3階大会議室に図書館分室を設置し、下記の資料・設備が利用できるようになります。

※詳しい開館日程等は、図書館ホームページ等で随時ご確認ください。

分室設置期間	平成 24 年 10 月 15 日(月) ～平成 25 年 2 月 15 日(金) [予定]
主な開館時間	月～金 10:00-17:00
休館日	土日祝 その他別途定める平日 *ホームページでご確認ください
利用対象者	学内者のみ
設備	視聴覚資料 *即日貸出はできません AV ブース IPC 端末



.....文献複写料金サービスについて.....

改修工事のため、9月1日(土)からの書庫閉鎖により、学生の皆様にはご不便をお掛けしております。そこで、現在利用できない書庫内資料のうち、雑誌や紀要について、下記のとおり他大学への文献複写依頼にかかる料金を負担するサービスを行います。

受付期間	2012年10月1日(月)～12月27日(木) ※ 予算の都合で終了時期が早まる場合がございます。 あらかじめご了承ください。
対象者	本学学部生・院生(特別聴講生、科目等履修生を除く)
補助上限	期間を通じて一人あたり最大3件まで
申込条件	以下の条件を全て満たす場合には複写料金補助サービスを受けられます。 1. 文献掲載資料が“書庫内資料”かつ“雑誌または紀要”である a. 配置場所が[雑誌書庫 和雑誌],[雑誌書庫 2F 洋雑誌],[雑誌書庫 2F 大学紀要等],[雑誌書庫 2F 紀要等]のいずれかである b. 該当巻号を所蔵している 2. 研究室に同一の資料を所蔵していない もしくは所蔵しているが利用できなかった 3. 速達での依頼ではない

(注意)

- ※ 必ず本学 OPAC でご確認ください。
- ※ 現物貸借は対象外です。
- ※ 図書に対する複写は対象外です。
- ※ 通常の複写同様、特集は個々の論文を1件とみなします。
- ※ Web 上で全文が公開されている場合は、そちらをご案内いたします。
- ※ 既に受け付けた申込に対して、補助サービスへの変更を行うことはできません。



9月26日(水)より工事を行っております。
解体等の作業でかなりの騒音が予想され、利用者の皆様にはご不便をおかけして大変申し訳ございません。ご理解とご協力をお願いいたします。

—お知らせ—
教育資料館まなびの森ミュージアム



**本学も、京都・大学ミュージアム
連携に参加し出品しています!**

※詳細はHPをご覧ください。
<http://univ-museum-kyoto.com/>
(京都・大学ミュージアム連携)

- 京都・大学ミュージアム連携合同展覧会**
「大学は宝箱! —京の大学ミュージアム収蔵品展—」
会期: 10月3日(水)～11月25日(日)
会場: 京都大学総合博物館
開館時間: 9時半～16時半(入館は16時まで)
休館日: 月曜日・火曜日(平日・祝日にかかわらず)
入館料: 一般400円/大学生・大学院生は無料



- 秋季企画展「京都・伏見の戦争と師範学校」**
会期: 11月10日(土)～12月7日(金)
会場: 教育資料館まなびの森ミュージアム
開館時間: 13時半～17時
休館日: 祝日・火曜日・木曜日・土曜日(10日のみ開館)
入館料: 無料

今回の執筆者

関根 文太郎 (産業技術科学科 教授)

「技術科教育」における指導と評価の一体化
 — 「ガイダンス」の適切な指導と評価方法の提案—

関根 文太郎・藤川 聡(京都市立桂川中学校, 大学院教育学研究科技術教育専修)・藤岡 秀樹
 京都教育大学紀要. 2012, No.120, pp.37-46.

本稿は、「中学校技術・家庭科技術分野」(以下、「技術科」と略す)において、指導と評価の一体化を図るため、効果的で工夫された授業展開と評価の方法を提案したものである。本稿で紹介する実践事例は、「技術科」において、1年生の初発の授業で行われる「ガイダンス」の学習での学び合いを中心とした、生徒の「関心・意欲・態度」を高めるための工夫と、ワークシートや行動観察を用いた有効なアセスメントを取り入れている。

「ガイダンス」は入学後、「学習の入り口」として行うもので、「技術科」の学習に関心をもたせるとともに、学習内容を体系的に組織させる先行オーガナイザーとしての役割を果たしている。技術科の「ガイダンス」とは単なるオリエンテーションではなく、「技術科」の学習内容として確立し、「関心・意欲・態度」の評価観点の対象に位置づけられている。しかし、「関心・意欲・態度」については、その指導と評価は難しいため、身に付けさせるべき能力を具現化できず、適切な指導が行えないまま、挙手や忘れ物の回数等の不適切な評価方法を用いる指導者が多く、いわゆる「評価のための評価」に陥りやすいところである。適切な指導と評価を相補的に機能させるためには、生徒の実態把握と目指す能力の明確化のもと、工夫された授業展開が不可欠となる。

本稿では、「ガイダンス」の授業において、生徒に「関心・意欲・態度」を身に付けさせるため、協同学習を取り入れた授業展開を提案している。そして、ワークシートや行動観察などによるアセスメントを有効に用いた事例を示している。本稿を通じて、「指導と評価の一体化」を実現させる「形成的評価」の視点を読み取って今後に生かしてほしい。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要 120号に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

●開館日程●

※11月7日は館内整理のため休館

※11月26日～12月15日は工事のため臨時休館

カレンダーの凡例

日付	9:00～21:00
○	
△	9:00～17:00
×	休館日
*	臨時休館日

平成24年 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

平成24年 11月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	



※夏季休業に伴う長期貸出の返却期限日は10月4日(木)です。

まだの方は、返却をお願いします。

- 京都教育大学附属図書館ホームページ
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>
- 携帯版図書館ホームページ (QRコード→)
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>



京教図書館 News No.145(2012年10月号)
 発行日:平成24年10月1日
 編集発行:京都教育大学附属図書館
 問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp